

中山間地域の
幼児人口増

西益田(益田)島根トップ

Uターン策など「奏功」

中山間地域の支援策を検討する島根県のプロジェクトチーム(座長・坪内清しまね暮らし推進課長)は、2005年と10年の国勢調査を基に中山間地域の227地区で4歳以下の幼児人口を調べたと

とみられ、同チームは増加要因をさらに分析する。

チームは本年度、県内の中山間地域を主に

とみられ、5人以上増加が30地区、1〜4人増加が30地区、減った地区は155地区に上った。

山陰中央新報社が、5人以上増えた地区がある市町村に確認したところ、公営住宅が建設されるなど特殊要因を除くと、14地区でU

4月から行う若者定住住宅の建設が要因。40歳以下で小学生以下の子どもがいる世帯に新築住宅を月3万円で提供し、20年で建物、25年で土地を譲渡する定住策を実施。昨年度までに116人が入居し、うち46人が町外から移住した。

227地区で4歳以下の幼児人口を調べたと

に付け、国勢調査や独自調査で数百項目のデータを入力して地区の課題をまとめた

「しまねの郷づくり力」を作成。この過程で、4歳以下の幼児人口の増減を調べた

担当者は「大工など手に職を付けてUターンした人が多かった」と話している。

自治会が幼稚園での一時保育料助成や出産祝い金を支払うなど、子育て世代を支援したことがUターン者の増加につながったという。

保などが奏功している

島根県内の中山間地域で
4歳以下人口が増えた地区

市町名	地区	増加数	増加の理由
益田市	西益田	21人	Uターンの増加
美郷町	沢谷	13人	定住住宅の整備
西ノ島町	浦郷	12人	Uターンの増加
邑南町	口羽	11人	Uターンの増加
邑南町	中野	9人	Uターンの増加
出雲市	稗原	8人	自治会の子育て支援
益田市	北仙道	8人	Uターンの増加
美郷町	都賀本郷	8人	定住住宅の整備
美郷町	別府	8人	定住住宅の整備
安来市	比田	7人	Uターンで就農
江津市	波積	6人	Uターンの増加
江津市	川戸	6人	定住向け空き家の活用
邑南町	出羽	6人	Uターンの増加
江津市	都治	5人	Uターンの増加

※公営住宅の建設など特殊な要因を除く